

# 想定以上の仕入価格上昇で収益減少、 業況判断は3期ぶりの悪化

～第134回熊本県内企業業況判断調査－2025年2月調査～

研究員 林田 祐子

## 1. 今期の業況判断

今回（2025年1～3月期）の業況DIは7ポイント（以下、p）悪化の▲14、製造業で23p悪化の▲31、非製造業で3p悪化の▲9（図表3）。業況DIは2024年4～6月期以来、3期ぶりの悪化となった。

業種別では、建設業と事業所サービス業を除く7業種で悪化した。特に、食料品製造業で47p悪化の▲40と大幅に悪化し、自由回答では、原材料費や人件費等の諸経費上昇に価格転嫁が追いつかず、収益を圧迫しているとの声が聞かれた。利益DIを見ても19p悪化の▲40と悪化しており、収益の悪化が業況判断の悪化へ影響していると考えられる（資料編(1)）。

## 2. 先行きの業況判断

先行き（2025年4～6月期）の業況DIは3p改善の▲11、製造業で10p改善の▲21、非製造業で1p改善の▲8の見通し（図表3）。

業種別では、食料品製造業や運輸業をはじめとする6業種で改善を見込むものの、多くの業種でマイナス水準が続く。

自由回答では、引き続き、原材料費の高騰や賃上げによる人件費の上昇を見込む声が多く聞かれ、価格転嫁できるかが業況改善のカギを握ると考えられる。また、受注を増やし、売上増につなげるための人手確保も重要な課題のようだ。

図表1 各DIの結果

	今回	前回は	先行き	今回比
業況DI	▲14	-7	▲11	+3
売上DI	▲2	-3	0	+2
利益DI	▲20	-1	▲21	-1
仕入価格DI	63	+9	63	±0
販売価格DI	32	+1	34	+2
設備DI	▲10	-5	▲10	±0
労働力DI	▲42	-1	▲45	-3
在庫DI	2	+4	0	-2
資金繰りDI	3	-1	▲2	-5

## ＜調査の概要・用語＞

1. 対象企業	県内主要企業 574社
2. 調査時点	2025年2月1日～2月21日
3. 対象期間	2025年1～3月期実績 2025年4～6月期見通し
4. 回答状況	回答企業 219社

今回＝2025年1～3月期

前回＝2024年10～12月期

先行き＝2025年4～6月期

DI＝「プラス」回答の割合－「マイナス」回答の割合  
業況DI＝「良い」－「悪い」

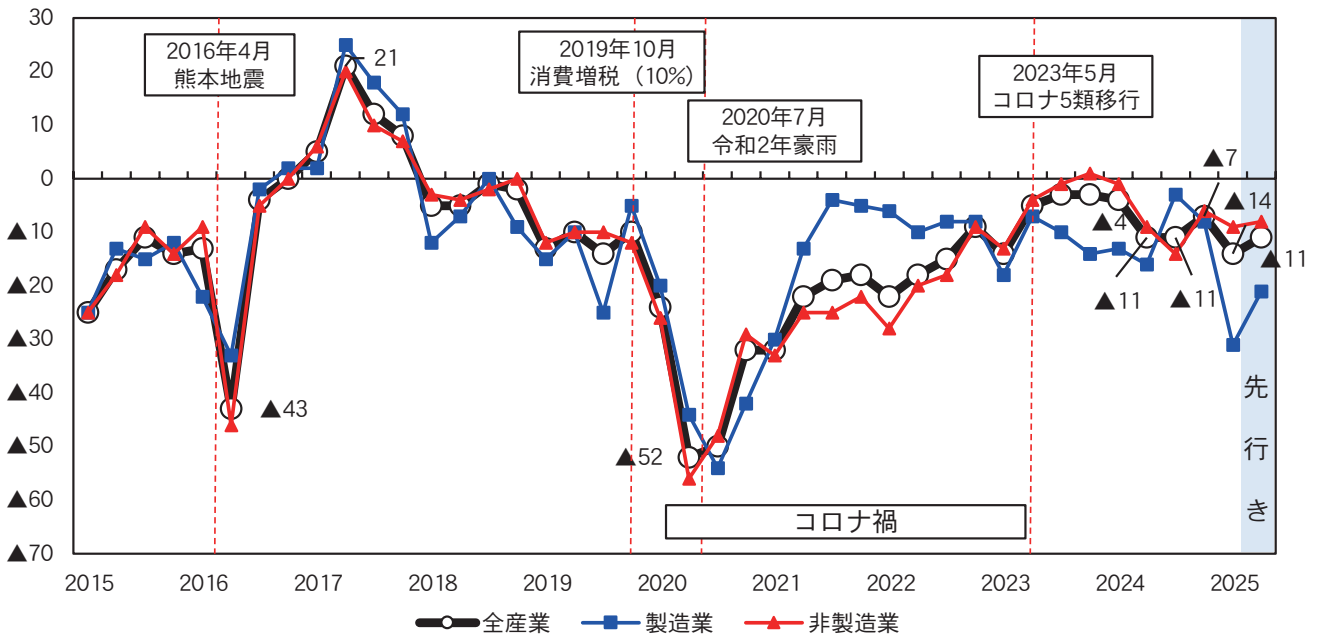
売上・利益DI＝「増加」－「減少」

仕入価格・販売価格DI＝「上昇」－「下落」

設備・労働力・在庫DI＝「過剰」－「不足」

資金繰りDI＝「楽である」－「楽ではない」

図表2 業況DIの推移



図表3 業種別業況DI ( )内は前回先行き、以降同

	2024年 10~12月期 (前回調査)	2025年 1~3月期 (今回調査)	前回 調査比	2025年 4~6月期 (先行き)	今回 調査比
全産業 (n=219)	▲7	▲14 (▲14)	▼	▲11	▲
製造業 (n=52)	▲8	▲31 (▲25)	▼	▲21	▲
食料品製造業 (n=20)	7	▲40 (▲21)	▼	▲15	▲
食料品以外の製造業 (n=32)	▲15	▲25 (▲26)	▼	▲25	→
非製造業 (n=167)	▲6	▲9 (▲10)	▼	▲8	▲
建設業 (n=39)	▲3	▲3 (▲10)	→	3	▲
生産財卸売業 (n=16)	▲24	▲25 (▲24)	▼	▲13	▲
消費財卸売業 (n=17)	▲13	▲35 (▲20)	▼	▲29	▲
小売業 (n=19)	▲11	▲16 (▲11)	▼	▲37	▼
運輸業 (n=9)	▲27	▲44 (▲27)	▼	▲11	▲
事業所サービス業 (n=41)	▲2	2 (▲6)	▲	5	▲
個人サービス業 (n=24)	▲24	▲12 (▲12)	▼	▲12	▲

▲ 改善 (上昇)  
→ 横ばい  
▼ 悪化 (低下)

以降は会員専用ページにて公開しております。

ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページより  
アクセスをお願いします。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方はこちらから](#)